

「放課後等デイサービス かぼすの丘」を始めて6年目、若狭社長に今の事業内容とこれからの展開についてお聞きしました。

多数の施設で独自の取り組みを行う  
「かぼすの丘」とは？

かぼすの丘は、「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」で未就学児から高校生までの課題を抱えているお子様をお預かりし、個別療育やグループ療育でお子様の成長過程にあった支援を行う施設です。  
現在、別府市・日出町・国東市で10施設あります。

未就学児、小学生、中学生、高校生ではそれぞれ必要な療育内容が異なります。1施設でお預かりできる人数が決まっている為、かぼすの丘では個々に必要な療育内容が提供できるように、各事業所で特徴をもった施設作りをしています。

特に今年8月にオープンした秋葉通り2号店では、「進学」「就労」を見据えた中高生を中心として、教科別の学習支援や、社会人になる為の個別プログラムを学校や行政とも連携しながら提供しています。

また、荘園店では幼稚園の年長さんを中心に、小学生になる準備に特化した療育に力を入れています。石垣店では、1歳から年中さんを中心に団体行動に慣れる活動を多く取り入れています。

このように施設が増えたことで、それぞれの施設がご利用中のお子様に合わせてより質の高いサービスを提供できるようになったと思います。

また、全施設で土曜日は食事の提供をしています。目的は親御さんの負担軽減と、買い物から料理、片付けまで行うことで日常生活を体験できるようにしています。学校では教えられないこと、家庭ではできないことを中間施設として療育しています。また、日々のおやつ代や野外活動で掛かる費用を会社負担することで、経済的な問題を

必要な体験に差が出ない様にしています。

社長が描くこれからの  
「かぼすの丘」とは？

今の「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」の療育内容をより発展させていきたいと思っています。現在6年目を迎えた事業所ですが、開業当初より提供できる療育内容の質は各段に上がっています。これからも社会的ニーズの変化に対応しながら、お子様の成長に必要な高い質の療育を提供したいと思っています。

また、「かぼすの丘」を卒業して行くお子様のフォローも大切にしたいと考えています。就職先や就労の場を提供することも目指しています。社会人になり、親御さんからも自立して生活できるように支援を続けていきたいです。

別府市、日出町、国東市の間にお住まいの方でも、まだまだ支援を必要としている方がいます。そのご家族を含む多くの方に安心してお子様を預けて頂ける「かぼすの丘」を目指し、地域が必要とされる総合的な福祉事業を目指して行きます。

子どもたちへの思いとは？

かぼすの丘には「コミュニケーションをとるのが苦手」や「自分をうまく表現できない」など様々な課題を抱えているお子様がいます。その様なお子さんたちに、無理なくチャレンジできる場を作り、1つでも多くの成功経験をさせてあげたいと思っています。学校と連携して苦手な部分の補助を行ったり、将来を見据えた療育を続けることで、出来ることの可能性を最大限広げてあげたいです。一人ひとりを我が子と思ひ、一緒に成長していきたくです。

働く職員さんへ思うことは？

新卒の若い職員から、定年後の年配の職員まで幅広い年齢層でアイデアを出し合って、活気のある職場になっていると思います。お

子様一人ひとりの特性が違うなか「どのような支援が今求められているのか」を良く理解して前向きに進める職員さんを見ていると頼もしく思います。今後も無理なく働ける環境を大切にして、皆が誇りに思える職場を作って行きたいです。

より良い「かぼすの丘」にする為に必要なことは？

時代の変化を受け入れ、「対応力」「行動力」を意識して進んで行くことが大切だと思います。そのためにも、色々な職業の方からお話を聞く勉強会を開き、新しいアイデアが出る環境も作りたいです。毎年、救命講習会や交通安全講習会を実施していますが、今後はマナー研修など今までやっていないことも取り入れ、お子様を預かるプロ意識を高めに行きたいです。

これからに向けて一言

会社の規模が大きくなることで、社会的責任も大きくなっていると感じています。職員全員が自覚を持って、より良いサービスと社会貢献ができる会社になりたいです。地元企業や学校関係と連携を深め、行政の方にご指導頂きながら、地域に必要なとされる会社を目指します。

interview

代表取締役社長  
若狭敏晴さん



株式会社創翔の里  
(ホームページ)

株式会社創翔の里  
本社：別府市荘園9組1  
0120・392・543  
電話受付時間10時～17時(土日祝日を除く)